

令和7年度 高等学校中堅教諭等資質向上研修

高等学校教育の現状と課題

兵庫県教育委員会事務局
 高校教育課副課長兼教育指導班長
 岡崎 俊宏

1

はじめに

◎ 経験豊富（成功体験 & 失敗体験）

- ◇ 教科指導 ◇ 生徒指導 ◇ 部活動
- ◇ 校務分掌 ◇ 学級経営

→ 個人としての活躍

アップデート

● 組織的な働き

- ◆ 学校運営への参画 ◆ 学年経営
- ◆ 特色化事業を牽引 ◆ 校外との関係づくり

→ 組織の中での活躍

2

組織的に考えるとは？

校則がある
 決まりだから
 今までそう
 だったから

生徒の成長のため

伝統、統一
 感、指導の
 しやすさ、
 保護者地域
 からの期待

方針は？

校長の方針
 県の方針
 国の方向性
 世間の捉え方

3

従来からの課題

- ・いじめ
- ・不登校
- ・課題を抱えた家庭
- ・キャリア教育
- ・保護者・地域との協力

新たな課題

- ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
- ・ICTの活用
- ・特別な支援を要する児童生徒への対応

「社会に開かれた教育課程」を重視
 「カリキュラムマネジメント」の確立

一人の教員が
 これら全ての課題に
 対応することは困難

組織的に連携・協働

多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力が教員に求められる

4

本日の内容

- 1 社会の変化
- 2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力
- 3 第三次実施計画 改革3つの柱

5

本日の内容

- 1 社会の変化
- 2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力
- 3 第三次実施計画 改革3つの柱

6

1 社会の変化

- 先行き不透明な「予測困難な時代」
→新型コロナウイルス感染拡大、国際紛争等でさらに加速
- 「Society5.0時代」の到来
→AI、ビッグデータ、IoT、ロボテクス等の高度化した技術が産業・社会生活のいたるところに取り入れられる

(R3答申)

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（答申）～

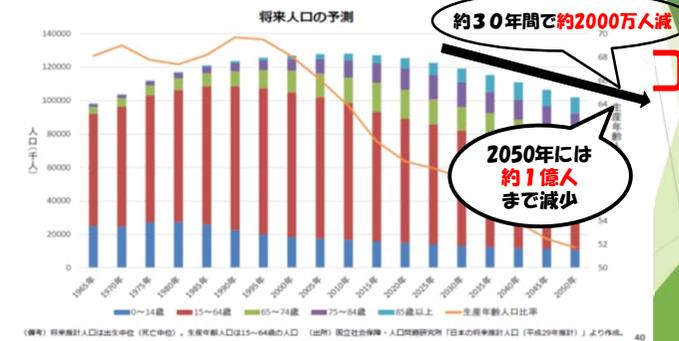
7

1 社会の変化

急速な少子高齢化

減少する我が国の人口

○2050年には日本の人口は約1億人まで減少する見込み。生産年齢人口比率は約5割に。



8

本日の内容

- 1 社会の変化
- 2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力
- 3 第三次実施計画 改革3つの柱

2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力

学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得 **⇔** 未来の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「**社会に開かれた教育課程**」の実現
各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか **どのように学ぶか**

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の
新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造
的に示す
学習内容の削減は行わない。

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・
ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を増やせず、質の深い理解を深めるための
学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

※学習指導要領については、毎年改訂される。毎年改訂の際に必要となる学習指導要領改訂の方向性を示すことに基づいて改訂が行われ、その内容を反映する。また、学習指導要領改訂の際には、関係機関との連携を促進し、関係機関との連携を促進する。

2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力

学力観の転換

コンテンツベースの学力観
「知っていること」
(内容重視)

→

コンピテンシーベースの学力観
「**何ができるようになるか**」
(能力重視)

「何を学ぶ(教える)か」という「コンテンツ」を重視した教育から、
「どのような力がついたのか」「何ができるようになったのか」という「コンピテンシーベース」に着目した教育へ

「どのように学ぶか」
主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善

2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力

探究学習の必要性

明治

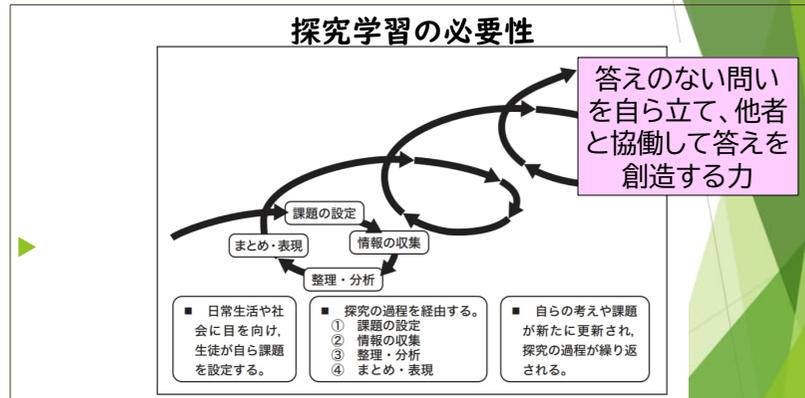
平成

令和

<http://s2.sss.fukushima-u.ac.jp/fks-db/txt/10051.101.bandai/html/00047.html> <https://www.yoda-naganocho.u.ed.jp/news/15069>

2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力

探究学習の必要性



13

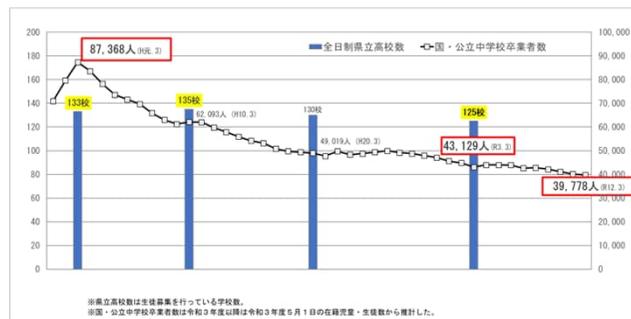
本日の内容

- 1 社会の変化
- 2 学習指導要領が示す育むべき資質・能力
- 3 第三次実施計画 改革3つの柱

14

3 県立高等学校教育改革第三次実施計画

➤ 高校教育改革の流れ



15

➤ 高校教育改革の流れ

県立高等学校での学び

- ・ 卒業単位の修得
- ・ 学校行事
- ・ 部活動

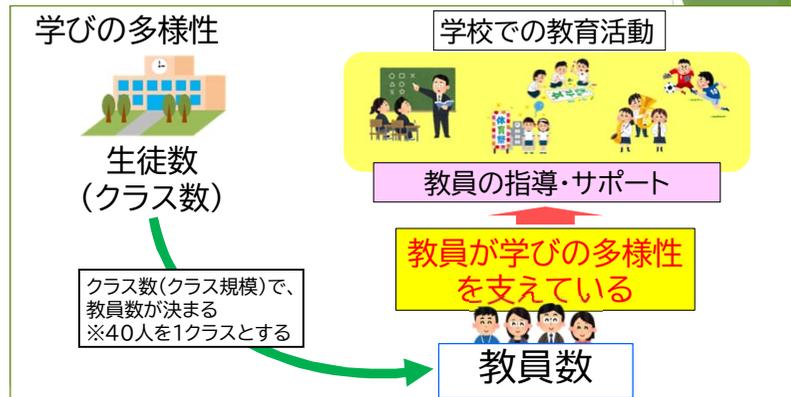


全ての県立高等学校で学ぶことができる

学びの多様性

16

➤ 高校教育改革の流れ



17

3 県立高等学校教育改革第三次実施計画

第1章 計画の趣旨等

1 計画の趣旨

第3期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」を踏まえ、変化が激しく予測困難な時代を迎える中で、社会の変化に柔軟に対応し、自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる県立高等学校であり続けられるよう、**改革の基本的な考え方と方向性を示す。**

2 計画の期間

令和4～12年度の9年間。(令和4～8年度の5年間の前期間)

第2章 計画の基本的な考え方

【実施計画における三つの柱】

- 1 県立高等学校の**魅力・特色づくりの推進**
- 2 県立高等学校(全日制)の**望ましい規模と配置**
- 3 **入学者選抜制度・方法の工夫と改善**

18

3 県立高等学校教育改革第三次実施計画

基本理念

社会等の変化に応じて「学びたいことが学べる学校づくり」

改革の3つの柱

- (1) **県立高等学校の魅力・特色づくりの推進**
- (2) 県立高等学校(全日制)の**望ましい規模と配置**
- (3) **入学者選抜制度・方法の工夫と改善**

19

(1) 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

第3章 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

3 中高一貫教育校

・連携型中高一貫教育校 ⇒生徒や地域のニーズ等を踏まえ、新設、連携中学校の拡充または連携の解消を検討

4 定時制・通信制

・多部制高校 ⇒夜間定時制高校再編により新設を検討
・通信制高校 ⇒通定併修等の充実に向けて配置のあり方を検討

5 教育内容の工夫と充実

・各校において学びの創意工夫に取り組む際の視点を整理

- ①スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進
- ②将来について考え、行動する態度や能力を育む教育の推進
- ③多様な価値観を認め、主体的に行動できる力を育む教育の推進
- ④新たな価値観を創造する力を育む教育の推進

20

(1) 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

① スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進

- 1 県教委が示すスクール・ミッション
- 2 各校で策定するスクール・ポリシー（3つの方針）

育成を目指す資質・能力を明確化
教育活動等を精選・重点化 → 学びたいことが
学べる学校づくり

兵庫型STEAM教育の推進

1 ○スクール・ミッション

2 ○精選科 スクール・ポリシー（3つの方針）

(1) 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

第3章 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進等

1 全日制普通科・総合学科

- ・普通科コース ⇒普通科新学科または普通科特色類型に改編
- ・望ましい規模の確保が見込めない総合学科 ⇒普通科特色類型等に改編
- ・**新設** 普通科新学科（学際領域に関する学科/地域社会に関する学科）
- ・**新設** STEAMに関する学科 ⇒STEAM教育を全学区で推進
※Science, Technology, Engineering, Art/Liberal Arts, Mathematics
を総合的・横断的に学ぶ課題探究型の学科

2 専門教育を主とする学科（全日制）

- ・職業学科 ⇒専門分野の重点化や学科改編等を検討
- ・理数科・国際科 ⇒生徒ニーズ等を踏まえて必要に応じて改編を検討
- ・新たな特色ある学科 ⇒全国有数の新たな学びに対して生徒や地域の
ニーズがある場合、全国募集等を前提に設置を検討

兵庫型STEAM教育
since 2020



ABOUT | 兵庫型STEAM教育 (hyogo-c.ed.jp)

(1) 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

普通科新学科の設置

新学科名	R6年度設置	R7年度設置
文理探究科	御影 八鹿	神戸学園都市 神戸鈴蘭台 津名 淡路三原 西宮音楽園 川西緑台 明石城西 播磨福崎
地域科学探究科	柏原	尼崎 姫路海城
STEAM探究科	篠山鳳鳴 明石 姫路飾西 豊岡	北条

3 県立高等学校教育改革第三次実施計画

基本理念

社会等の変化に応じて「学びたいことが学べる学校づくり」

改革の3つの柱

- (1) 県立高等学校の魅力・特色づくりの推進
- (2) 県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置
- (3) 入学者選抜制度・方法の工夫と改善

(2) 県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

第4章 県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

【基本的な方向性】

◇多様で活力ある教育活動を維持するために必要な望ましい規模

- 普通科・総合学科で、1学年6～8学級
- 職業学科の単独校で、1学年3学級以上

◇原則、発展的統合により望ましい規模を確保し、配置を検討

【具体的な進め方】

◇発展的統合を行う学校数

令和7年度 … 7組16校 令和10年度 … 6組12校

◇地域の特性等を踏まえ、発展的統合を行わない望ましい規模に満たない学校については、地域の支援を得ながら存続する可能性、もしくは、新たに発展的統合を行う可能性について、市町教育委員会等と引き続き協議

(2) 県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

学年	第1学区		第2学区		第3学区		第4学区		第5学区
	神戸・芦屋	淡路	阪神	丹有	東播	北播	中播	西播	但馬
9	神戸								
8	船影 兵庫 西田 兵庫工業		西宮 鳴尾 伊丹 宝塚北 武庫川総合		朝石 朝石北 朝石南西 朝石南東 朝石西 加古川東				
7	伊藤 星陵 夢野台 神戸西園台 神戸商業		尼崎 尼崎北 尼崎小田 尼崎結郷 伊丹北 伊丹南 宝塚西 川西緑台 川西明城		朝石南 加古川西 農業	小野	姫路東 姫路西 姫路工業	龍野	
6	津敷 須磨東 北津島 淡路東が丘 熊手 伊川谷北	洲本	西宮南 西宮今津 川西北原 宝塚 実業	北摂三田 三田祥雲館 香島	高砂南 加古川南 加古川北 東播磨 東播工業	西脇 三木 社	姫路商業	龍野北	
5	神戸高専 神戸台 神戸甲北	高砂三原	尼崎西 伊川谷 姫路工業	三田西陵 柏原	高砂 松蔭	三木東 西脇工業	姫路緑西 姫路南 香寺	相生 太子 赤穂 山崎 上郡 花野 相生産業	豊岡 豊岡総合 八潮
4	神戸北	津名	西宮甲山 種名川	福山鳳鳴 福山産業	播磨南	小野工業	網干 福崎 数豊工業		
3	国際	淡路 洲本東		水上			三木北 北浜 緑豊農業	姫路別所	曹田 和出山
2						宮川 多可	夢前 神崎		出石 須賀 日高 打間 主野 但馬農業
1				水之上 福山東雲			家島	伊和 千種	

発展的統合 [R7年度6組14校]

対象校	学校名(仮称) 設置場所	設置学科	学びの特色
神戸北 神戸甲北	北神戸総合 (きたこうとうそうごう)	総合学科	・宇宙や気象に関する専門的な理数教育 ・複数の外国語科目による国際理解教育 ・AIやIoT等のデジタル技術に関する教育 ・大学等と連携したアットレジャークラブ教育 ・アットレと防災活動を融合した教育
	現・青洲南高校の 校地を併用		
伊川谷 伊川谷北	神戸学園都市 (こすたがくえんとし)	普通科・ 文理探究科	・大学等と連携した文理融合的な教育 ・特科校連携等を活用した海外交流 ・国際交流によるコミュニケーション力の育成 ・柔軟なカリキュラムによる個に応じた教育 ・ICTを活用した情報処理・情報発信
	現・伊川谷北高校の 校地を併用		
西宮北 西宮中山	西宮芸術園 (にしのみやくらえん)	普通科・ 文理探究科	・プログラミングに力点を置いた探究活動 ・現・甲府中学校と連携した課題解決学習 ・国際交流による英語活用能力の育成 ・個性を尊重した系統的なキャリア教育 ・地域ふりかえり活動等の体験活動
	現・西宮北高校の 校地を併用		
三木北 三木東 吉川	三木総合 (のみぎょうそうごう)	総合学科	・地域の教育資源を活かしたキャリア教育 ・美術とデジタルを融合した情報デザイン ・環境問題や地域防災に取り組み教育 ・近畿エリアに関する専門的な教育 ・地域福祉に必要な知識や技術の習得
	現・三木東高校の 校地を併用		
姫路南 網干 家島	姫路海城 (ひめじかいじょう)	普通科・ 地域科学探究科	・地域活性化型の探究活動 ・ICTやAIを活用したラーニング ・音楽・スポーツに関する専門的な教育 ・地域での国際交流による異文化理解 ・地域の歴史と文化を学ぶ教育活動
	現・姫路南高校の 校地を併用		
福崎 夢前	播磨福崎 (はりまふくさき)	普通科・ 文理探究科	・兵庫県に特化したライフプログラム ・地域文化の伝承を目指す地域連携活動 ・地域の医療機関等におけるインターンシップ ・地域の課題問題に取り組み探究活動 ・国際活動を軸とした学校行事
	現・福崎高校の 校地を併用		

【その他共通事項】
 ・学校名は、「兵庫県立高等学校の設置及び管理に関する条例」の改正を経て正式決定
 ・学校規模は、望ましい規模である1学年6～8学級となるよう検討
 （機体定員は令和6年10月に決定します）
 ・探究活動発表会等が実施できる講義棟やグループでの探究活動が行える探究ルーム等を整備

(2) 県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

第5章 入学者選抜制度・方法の工夫と改善

【基本的な方向性】

- ◇本計画期間中は、現行の5学区を維持
- ◇入学者選抜制度全体のあり方については、前期期間または計画期間の満了時において、必要な見直しを検討するため、教育関係者等による検討組織を設置

【具体的な取組】

- ◇2月入試と3月入試の定員の割合、選抜方法の見直しの検討
- ◇普通科新学科及びSTEAM学科の選抜方法の検討
- ◇隣接区域の新たな設定の必要性の検討
- ◇職業教育を主とする学科の選抜方法の改善方策の検討
- ◇第5学区の進学連携校方式のあり方の検討
- ◇多部制単位制高等学校の部間の募集定員の割合等の見直しの検討
- ◇総合学科の選抜方法の改善方策の検討

29

これから求められる力



30

29

30

これから求められる力



31

ご清聴ありがとうございました。



32

31

32

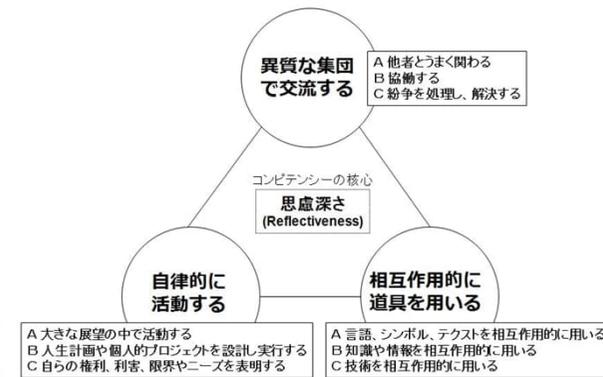
追加スライド①

3つのキー・コンピテンシー

1. 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力
 - A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に活用する能力
 - B 知識や情報を相互作用的に活用する能力
 - C テクノロジーを相互作用的に活用する能力
2. 多様な社会グループにおける人間関係形成能力
 - A 他人と円滑に人間関係を構築する能力
 - B 協調する能力
 - C 利害の対立を御し、解決する能力
3. 自律的に行動する能力
 - A 大局的に行動する能力
 - B 人生設計や個人の計画を作り実行する能力
 - C 権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力

33

図 3つのキー・コンピテンシー



34

追加スライド②

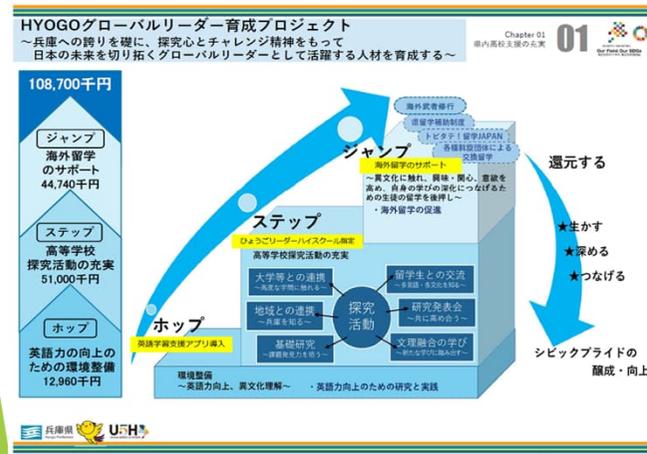
現行学習指導要領の課題として、

- ① 学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができない子供が多くなっていること
- ② 現行の学習指導要領の理念や趣旨の浸透が道半ばであること
- ③ 「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要があること

35

3 第4期 ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）

追加スライド③



36